

「農業農村開発協力の実績と地域別の取組」について

平成13年8月
農村振興局

1. 背景

農村振興局は、国内の農業農村整備事業で培った技術・ノウハウ・人材を基にこれまでもJICAの技術協力を中心に農業農村開発協力を実施してきたところであるが、近年、永年にわたるODAの実績の積み重ねに対し、さらに一層の効果的・効率的実施と透明性の確保が求められており、農村振興局の農業農村開発協力についても適切な対応を図る必要がある。

2. 目的

農村振興局の行う農業農村開発協力について、これまで最多の協力実績を有する東南アジア（シンガポール、ブルネイを除くASEAN8カ国）を対象に、当小委員会からより効率性の高い協力の展開方向を取りまとめるための提言をいただく。

3. 検討課題

農業農村開発協力の地域別取組として、東南アジアを対象に協力の展開方向を検討。

- (1) これまでの協力実績及び分析
- (2) より効率性の高い協力の新たな展開方向

4. 検討スケジュール

- (1) 8月30日：

東南アジア協力の現状及び協力事例を紹介し、委員から意見・助言。

- (2) 12月頃：

協力の展開方向（案）につき審議し、とりまとめ。